

支援者向け研修会

# 「孤独死を防ぐ」

常盤平団地「孤独死ゼロ作戦」の現場から

主な対象者：行政職員、社協職員、NPO職員、団地自治会、民生委員など

平成30年 **1月19日** **金** 13:30-15:30

会場：南相馬市 原町区福社会館 視聴覚室

基調講演

講師：**大嶋愛子**さん  
(千葉県常盤平団地地区社協・会長)



## 常盤平団地「孤独死ゼロ作戦」とは

千葉県松戸市にある常盤平団地は、団地における先進的な孤独死の予防活動「孤独死ゼロ作戦」で知られている団地です。団地自治会と団地地区社会福祉協議会が共同で活動を実施。住民からの情報を受け付ける「孤独死110番」や、常設型交流サロン「いきいきサロン」の開設などに取り組み、孤独死防止に成果をあげてきました。

今回、孤独死ゼロ作戦の先頭に立ってきた常盤平団地地区社会福祉協議会の大嶋愛子さんをお招きし、常盤平団地の孤独死防止の活動について学ぶ機会にしたいと思います。

主催：NPO法人日本国際ボランティアセンター(JVC)

後援：南相馬市、浪江町、南相馬市社会福祉協議会、  
浪江町社会福祉協議会、大町きらきらサロン

NPO法人みんぷく、NPO法人相馬広域こころのケアセンターなごみ

## 常盤平団地と南相馬市原町区「大町きらきらサロン」

平成27年1月、南相馬市原町区の大町災害公営団地で住民が主体になり運営する「大町きらきらサロン」が誕生しました。団地の住民自ら「スタッフ」となり、ボランティアで週3回のサロンを団地内で運営しています。地元の社会福祉協議会、NPO、市外の団体と協力しながら団地の住民に「行き場」を提供しています。また、震災前に行政区であった季節の行事（暑気払い、新年会など）をサロンで開催。多いときには80人近い人々が訪れます。「大町きらきらサロン」は新しいコミュニティである公営団地で、住民間が「絆」を紡いでいく重要な場所になっています。

「大町きらきらサロン」は、千葉県松戸市にある常盤平団地の活動を参考に活動をはじめました。これまでに2回、住民が視察に訪れています。

千葉県松戸市常盤平団地は1960年に入居が始まったいわゆる「マンモス団地」。人口減少が続き、住民は現在約9千人程度で37%が高齢者です。2000年台に入り孤独死が増加。2001年には孤独死した住民男性の遺体が死後3年以上経って発見される痛ましい事件もありました。多くのメディアで報道され、日本社会に「孤独死」という問題を突きつける契機になりました。



常盤平団地自治会と同団地地区社協は「孤独死ゼロ作戦」を策定。住民と社協が一体となり様々な活動を実施。孤独死の防止に成果を上げてきました。常盤平団地の活動は先進的な孤独死防止の取り組みとして平成22年には総務大臣表彰を受賞。多くの団体が孤独死防止先進事例を見ようと見学に訪れています。



## 講演会参加申込書

当日参加も可能ですが、参加人数把握のため可能な限り事前にお申し込みください

|       |  |
|-------|--|
| お名前   |  |
| ご所属団体 |  |
| 参加人数  |  |
| ご連絡先  |  |

本申込書を0244-32-0281(後援団体:NPO法人みんぷく南相馬事務所)にFAXでお送りください  
もしくは、[shirakawa@ngo-jvc.net](mailto:shirakawa@ngo-jvc.net)にメールで必要事項を記入し、お申し込みください。

本講演会についてのお問い合わせは、主催団体のNPO法人日本国際ボランティアセンター(JVC)までお願いいたします。

TEL:03-3834-2388 FAX:03-3835-0519 E-mail:[shirakawa@ngo-jvc.net](mailto:shirakawa@ngo-jvc.net) 担当:白川  
〒110-8605 東京都台東区上野5-3-4 クリエイティブOne秋葉原ビル6F